

この資料は、BAT 英国本社が2024年2月8日（現地時間）に発表したプレスリリースを日本語に翻訳・要約したもので、資料の内容および解釈については英語が優先されます。また、日本の法規制などの観点から一部、削除、改変または追記している部分があります。英語版は[こちら](#)をご参照ください。

プレスリリース 2024年2月8日

British American Tobacco p.l.c.

2023年12月31日期末暫定決算報告書



## スモークレスな世界を築く

### 概要

- 売上高は1.3%減少、既存事業ベースでは、ニュー・カテゴリー製品の21.0%の売上成長（同一為替レートベース）と底堅い価格動向が貢献して3.1%増加（同一為替レートベース）
- ニュー・カテゴリー製品は、VuseとVELOに牽引されて数量主導の力強い売上高成長率を記録、グループ売上高に占める非燃焼式製品の割合は2022年に比べて1.7ポイント増加して16.5%
- ニュー・カテゴリー製品は当初目標より2年早い2023年に損益分岐点に達し、グループ利益は3億9,800万ポンドの増加（同一為替レートベース）に貢献
- BATの加熱式製品とパイプ製品に関するすべての特許侵害訴訟でフィリップ・モリス・インターナショナル（PMI）社と和解
- 燃焼式たばこ製品の売上高は既存事業ベースで0.6%増加（同一為替レートベース）、価格および製品構成は6.1%のプラス寄与となったが、販売数量の減少および米国地域でマクロ経済情勢による圧迫が高価格帯製品に影響を及ぼしたことを主因とする事業地域構成により相殺
- AME（米国を除く南北アメリカおよび欧州地域）とAPMEA（アジア太平洋・中東・アフリカ地域）が優れた業績を達成、当社の世界的な基盤とマルチカテゴリー戦略が奏功していることを証明
- 営業損益は157億5,100万ポンドの損失（公表ベースの営業利益率は95.8ポイント低下して-57.7%）、主として米国地域の事業に関連した総額276億ポンド（米国地域事業関連は273億ポンド）の現金支出を伴わない償却費が影響
- 既存事業の調整後営業利益は同一為替レートベースで3.9%増加、既存事業の調整後営業利益率は0.4ポイント上昇して45.6%
- 公表ベースの希薄化1株当たり利益（EPS）は-646.6ペンス、既存事業の調整後希薄化1株当たり利益（EPS）は同一為替レートベースで5.2%増加
- 営業活動におけるキャッシュ・コンバージョンは100%、**既存事業の調整後純負債/調整後 EBITDA 倍率は2.6倍に低下**
- **増配方針に沿って**1株当たり配当を235.52ペンスに引き上げ、増配率は2.0%
- ESGへの継続的な取り組みが一段と進展、2023年のESGの世界的な評価指標であるMSCIスコアはAに改善（2022年はBBB）、取水量と廃棄物排出量の削減目標を計画より2年早く達成

### タデウ・マロッコ最高経営責任者のコメント

「2023年も厳しいマクロ経済環境下にあったにもかかわらず、世界的な基盤とマルチカテゴリー戦略に支えられ、底堅い業績を維持し、当社予想の範囲内の業績を達成することができました。

引き続きニュー・カテゴリー製品はVuseとVELOに牽引されて数量主導の力強い売上高成長率を記録し、収益性が改善しました。この結果、ニュー・カテゴリー製品は当初目標より2年早く損益分岐点に達しました。

燃焼式たばこ製品では、米国のコマーシャルプランの効果本格化を始め、製品ポートフォリオは回復の兆しを見せています。AME地域およびAPMEA地域の業績は好調で、バランスのとれた製品ポートフォリオが貢献して売上高と利益は高水準に達しました。

当社はより強化された戦略の下、2035年までに非燃焼式製品が売上高に占める割合を50%に引き上げ、スモークレスな製品を主力とする企業になることを目指して、『Building a Smokeless World（スモークレスな世界を築く）』という取り組みに注力しています。このビジョンに沿って、米国の燃焼式たばこ業界に影響を及ぼしている現在のマクロ経済要因による圧迫や、違法な使い切りタイプのペイプ製品の蔓延、米国のメンソールたばこ製品の規制措置を巡る不透明感を勘案したうえで、主に当社が買収により取得した米国の燃焼式たばこブランドに関連して、現金支出を伴わない償却費として273億ポンドを計上しました。

BATでは、米国地域事業を強化し、イノベーションを加速させ、戦略の実行を支える能力の増強のために投資を行っています。これらの投資、さらに米国のマクロ経済要因による圧迫が、2024年の業績に影響を及ぼすことが予想されます。その後、2026年までに同一為替レートベースの既存事業の売上高成長率は3~5%、調整後営業利益成長率は1桁台半ばに達すると予想しています。この間を通じて、当社は高水準のキャッシュリターンによる株主還元を継続していきます。

BATの選択が長期的な成功をもたらす、当社のすべてのステークホルダーのための持続可能な価値の実現につながると確信しています。」

## 決算のハイライト

2023年12月31日期末決算	公表値		調整後 <sup>1</sup>		調整後 <sup>1</sup> 既存事業 <sup>2</sup>
	実勢 為替レート	前年比 (実勢)	実勢 為替レート	前年比 (同一)	前年比 (同一)
紙巻たばこおよび加熱式製品の数量ベースのシェア		-0.1ポイント			
紙巻たばこおよび加熱式製品の金額ベースのシェア		-0.5ポイント			
非燃焼式製品利用者 <sup>3</sup>	2,390万人	+320万人			
売上高	272.83億ポンド	-1.3%	272.83億ポンド	+1.6%	+3.1%
ニュー・カテゴリー製品の売上高	33.47億ポンド	+15.6%	33.47億ポンド	+17.8%	+21.0%
営業利益	(157.51)億ポンド	-250%	124.65億ポンド	+3.1%	+3.9%
ニュー・カテゴリー製品の貢献度 <sup>4</sup>			0.17億ポンド	n/m	n/m
営業利益率	(57.7)%	-95.8ポイント	+45.7%	+0.6ポイント	+0.40ポイント
希薄化1株当たり利益 (EPS)	(646.6)ペンス	-322%	375.6ペンス	+4.0%	+5.2%
営業活動による正味キャッシュフロー	107.14億ポンド	+3.1%			
営業活動による調整後キャッシュフロー			78.24億ポンド	+2.9%	
キャッシュ・コンバージョン	(68.0)%	-167ポイント	+100%	-0.4ポイント	
借入金 <sup>5</sup>	397.30億ポンド	-7.9%			
調整後純負債			339.40億ポンド	-7.4%	
1株当たり配当金	235.52ペンス	+2.0%			

調整後利益および同一為替レート等の非GAAPベースは、英語版決算報告書の51頁に比較可能なIFRS（国際会計基準）の定義を提示してありますのでご参照ください。

注-1. 英語版決算報告書31頁の調整項目に関する説明を参照 2. 既存事業の業績指標は、すべての決算期年度の業績を同一ベースで評価できるようにするために、売却した事業（ロシアおよびベラルーシ事業を含む）や取得した事業、あるいは業績に影響を及ぼす構造的な変化が続いており、当該年度および比較対象となる年度の当グループの業績の解釈に大きな影響を及ぼす可能性のある事業を除外している 3. ロシアおよびベラルーシ事業を除く社内推定値、44頁を参照 4. 2023年のニュー・カテゴリー製品の貢献は2022年の3億6,600万ポンドの損失から1,700万ポンドの利益（同一為替レートベース）に改善したため変化率はn/m（非適用）とした 5. 借入金はリース債務を含む

## ビジョンと戦略実行を強化

### タデウ・マロッコ最高経営責任者のコメント

最高経営責任者に任命されたとき、当社の戦略が基本的に正しいものであると確信していました。しかし、ビジョンを明確にし、業務執行へ強化する必要がありました。

そこで、「A Better Tomorrow™（より良い明日）」という当社のパーパスを、「Build A Smokeless World（スモークレスな世界を築く）」というビジョンにより一段と精緻なものにしました。

BAT のビジョンは明確であり、紙巻たばこの利用者にリスク低減の可能性を秘めた<sup>\*1</sup> 代替製品への移行を奨励することに重点を置いています。

同時に、当社は紙巻たばこ事業を責任をもって運営し、引き続きその収益をスモークレスな代替品の成長のために投資していきます。

成人<sup>\*1</sup>の消費者の選択を主導することが、当社のビジョンの核となります。消費者にとって喫煙の代替手段となるものは一つではありません。BAT は紙巻たばこの主な代替となる 3 カテゴリーの製品のいずれにおいても、極めて強固な基盤を築いています：

- Vuse、紙巻たばこに代わる製品として高い成長率を記録しているベイプ製品の世界的な市場リーダー
- 加熱式製品ブランドの glo、紙巻たばこの有力な代替となるこの分野で世界 2 位にランクイン
- VELO、ニュー・カテゴリー製品の中で最も有害性物質プロファイルが低く、急成長中の分野であるモダン・オーラル製品<sup>\*2</sup>の有力ブランド

<sup>\*1</sup> 2022 年 4 月からの民法上の成年年齢の定義変更に基づき、「成人」は日本国内においては「法に定められる喫煙が可能となる年齢（満 20 歳）に達した者」を指す。

<sup>\*2</sup> BAT は日本において、たばこ葉を含有しない「オーラル製品」を販売しておらず、たばこ葉を含む「オーラルたばこ製品」を販売している。

BAT は、柱となる 3 つの分野において明確かつ組織的な見通しをもつことにより、戦略を精緻化し、実行力をさらに強化しました：

- 質の高い成長：BAT のグローバルブランドとイノベーションの強みを礎とするバランスのとれた売上高と最終利益の実現を重視
- 持続可能な未来：BAT の極めて優れた科学研究、外部との積極的なエンゲージメント、規制の重視を通じて将来的な持続可能性を推進
- ダイナミックなビジネス：効率的かつ効果的な事業運営を行い、データドリブンで、投資とキャッシュリターンを実践できる財務上の柔軟性を生む現代的で先進的な組織

BAT は戦略的な柱に沿って、これらの重点分野のすべてにおいて 2023 年に進展が見られたことを大変うれしく思います：

- ニュー・カテゴリー製品の収益性改善：当初目標より 2 年早く損益分岐点に到達（カテゴリー別利益寄与度に基づく）
- 米国地域での燃焼式たばこ製品の金額ベースの成長：2023 年 1 月以降、数量および金額ベースのシェアが前月比で拡大
- 加熱式製品の大幅な強化：BAT 史上初のたばこ葉を使用しないニコチン製品、veo<sup>TM</sup> シリーズを投入したほか、イタリアとポーランドで glo hyper pro を投入、さらに、当社の加熱式製品とベイプ製品に関するすべての特許侵害訴訟でフィリップ・モリス・インターナショナルと和解
- 責任あるニュー・カテゴリー製品のスチュワードシップ：適切かつ責任のあるベイプ製品規制を通じて「スモークフリー・ブリテン」への取り組みを支持する当社のキャンペーンが実証する通り、積極的で、科学的根拠に基づいたアプローチを涉外に採用
- 財務上の柔軟性の強化：営業におけるキャッシュ・コンバージョンは 4 年連続で 100% を達成、2019 年以降、総額 262 億ポンドを株主に還元

ダイナミックなビジネスの戦略的な柱の鍵となるのは、財務上の柔軟性、規律ある資本配分、高水準の株主還元です。25 年連続で増配を維持し、景気サイクルを通じて株主還元を行ってきた実績を今後も堅持します。

今後 5 年間に、約 400 億ポンドの配当支払い前フリー・キャッシュフローを達成できる見通しです。

さらに、今後もバランスシートの柔軟性を強化するためのあらゆる機会を模索し続け、その一環として、関連会社の ITC の持分を定期的に見直します。当社は大量の持ち株を保有しており、それらを売却し、資本を再配分することが可能です。

BAT は 1900 年代初頭から何らかの形で ITC 株を保有しており、度重なる資本金の変更や規制面での制約に直面してきました。以前から当社は持ち株の一部の売却を行うために必要な規制面での手続きについて積極的に取り組んでおり、進展が見られ次第ご報告します。

このエキサイティングな局面のもと、BAT の一員として、世界中の社員と力を合わせてスモークレスな世界を築き、「A Better Tomorrow™ (より良い明日)」を推進していく所存です。

\* 紙巻たばこからの完全な移行を前提とした、科学的根拠の重みづけに基づく。「リスク低減の可能性を秘めた」製品に健康へのリスクがないことを意味するものではなく、これらの製品は依存性がある。

† 当社のベープ製品の Vuse (Alto, Solo, Ciro, Vibe を含む) および米国で販売されている VELO, Grizzly, Kodiak, Camel Snus を含む一部の製品は、米食品医薬品局 (FDA) の規制を受けており、FDA の許可なしにこれらの製品に関するリスク低減を主張することはない。

## 2024 年の見通し

- 世界のたばこ業界は米国とインドネシアを中心に数量ベースで 3% 前後縮小する見通し
- 既存事業ベースの売上高成長率\* は 1 桁台前半となる見込みで、2025 年度に向けたニュー・カテゴリー製品の 50 億ポンドの売上高目標に向けて着実に前進
- 既存事業の調整後営業利益成長率\* は、約 2% と予想される取引上の為替変動によるマイナス影響を勘案後で 1 桁台前半となる見込み
- 通期の収益は、段階的な投資の縮小と米国のマクロ経済情勢の緩やかな回復の見通しを踏まえると、下半期の比重が大きくなる見通し
- 為替換算による通期の調整後営業利益成長率への影響は 3% となる逆風の見通し
- 営業活動におけるキャッシュ・コンバージョンは 90% を超える見込み
- 調整後純負債/調整後 EBITDA 倍率は 2~3 倍\* のレンジの中間に向けて改善
- 英ポンドベースでの増配を継続する方針を堅持\*

\* 同一為替レートベース